

地域おこし協力隊

通信

VOL.85

観光振興担当 貞廣拓哉隊員



皆さんこんにちは、地域おこし協力隊の貞廣です。

今年度の活動の一つとして、私は広尾町と「クリスマス」をキーワードにコラボレーション企画を行なっています。主な内容はYouTubeやZoom（Web会議）などを活用しながらお互いの町を紹介し合ったり、時にはご当地キャラクター同士で対決を行なったり、その他は観光パンフレットとポスターの交換配布、SNSでの

相互発信などです。交流の様子については地域おこし協力隊SNSやYouTubeチャンネル「ほろのベテレビ」にて公開していますので、ぜひ見ていただくと嬉しいです。

今後はお互いの町民同士が交流できる機会を設けたいと考えており、交流の輪をさらに広げていきたいです。この交流をきっかけに幌延町やトナカイ観光牧場などへ訪れる方が増えることを願っています。



コラボ動画はこちらから



広尾町で現地交流を行ないました

集落支援担当 中井正幸隊員



～コロナと共に歩み始めた日常～

「コロナワクチン何回打ったっけ？」そんな日常会話も繰り広げられる昨今。この問寒別での日常はコロナ感染対策をしながら少しずつあゆみを始めています。

問寒別のにぎわいのひとつでもあるサークル活動も改めて動き出しています。

10月に開催された問寒別町民文化祭では昨年中止していたそばサークルによる手打ちそばの提供が復活しました。12月には私が問寒別に来てから一度も開催されることがなかった、問寒別ミニバレー愛好会によるゼニス杯が3年ぶりに復活し、にぎわい・活気にあふれる1日を過ごしました。

協力隊として問寒別、幌延町にやってきました3年。多くの行事、イベントが中止となってきました。まさかコロナによる自粛が3年も続くなんで誰が思っていたのでしょうか？

地域行事の後退感の中、完全に失ってしまうのではなく、コロナと共に出来る方法で、無理なく楽しく歩み続ける。そんな日々が来年も続くことを願う年の瀬でした。



12月4日に行われた第17回ZENITH杯